

## 会 議 録

会議名	平成23年度第2回文化財保護審議会	
事務局	生涯学習課	
開催日時	平成23年10月5日(水) 午前10:00から12:00	
開催場所	602会議室	
出席者	委員	(出席) 赤澤・山口・田中各委員 (欠席) 福嶋・鴨下・二宮・阿部各委員
	事務局	伊藤・倉澤
傍聴の可否	◎可・不可・一部可	
	傍聴者：なし	
不可の理由		
(要点筆記)		
会 議 次 第		
1 報告・協議事項		
<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 文化財ウィーク主催事業について</li> <li>2) 指定・登録候補の文化財について</li> <li>3) 23年度設置予定の文化財説明板について</li> <li>4) 史跡玉川上水・小金井桜整備活用事業について</li> </ul>		
会 議 結 果		
(赤澤議長)		
<p>ただいまより第二回文化財保護審議会を開催します。では事務局のほうで進行をお願いします。</p>		
(伊藤)		
<p>本日は欠席の先生方が4名おり、過半数に満たないため、条例の規定上会は成立しないのですが、せっかくお集まりいただきましたので、報告事項のみさせていただきます。</p>		
(倉澤)		
<p>まず、平成23年度の文化財ウィーク主催事業についてご報告させていただきます。今年も東京文化財ウィークの期間に合わせて、①企画展、②講演会、③文化財めぐりの3つの主催事業を予定しております。</p>		
<p>①の企画展については期間が11月1日から12月25日まで、場所は文化財セ</p>		

ンター展示室、内容は平成23年度に市が指定・登録を行った文化財を中心に展示、解説を行います。

②の講演会については「文化財と科学」というテーマで、講師は文化財保護審議委員の二宮先生にお願いしました。先生のご専門である、石器の材料などに使われる黒曜石の産地を科学的に調べる方法とその成果について、分かりやすくお話しいただけるといことで、快諾していただいております。日時は11月5日(土)の午前10時から12時までで、定員40名、文化財センターの学習室で行います。

③の文化財めぐりについては、11月12日(土)の午前9時から12時で定員は30名、案内は伊藤さんと文化財センター非常勤職員の多田さんが担当します。コースは資料のとおりですが、はけの道・野川にそって歩き、周辺の史跡や文化財について説明する予定です。

文化財ウィーク主催事業についてのご報告は以上です。

(赤澤議長)

①の企画展の解説は誰が行うのですか。

(伊藤)

基本的には展示品の横に解説用のキャプションをつけることで対応します。別途団体等が来て解説等の依頼があった時は、個別にが対応します。

(倉澤)

続きまして、23年度の指定・登録候補の文化財について報告します。

基本的には以前の審議会であげていただいている候補一覧(資料2)の文化財を中心に、順次指定・登録を検討し手続きを進めていく予定です。ただ、以前に先生方に視察していただいた天然記念物候補など、個人所有の文化財については、所有者の同意が得られない場合もあり、手続きが進まないため、市所有の文化財の指定についても並行して進めていくことを考えています。

(伊藤)

この中で滄浪泉園につきましては、都教育委員会が視察に来て、国の名勝登録でもいいのではないかと、という話もいただいております、事務手続きを進めるのでしたら進めたいと思っております。

(赤澤議長)

今、滄浪泉園は都の指定になっているのですか。

(伊藤)

なっていません。

(赤澤議長)

市の指定はしないのですか。

(伊藤)

そもそもなぜ市の指定にしないのか、という話があり、市が指定しないなら国の登録という制度もある、という話でした。

(赤澤議長)

国分寺の殿ヶ谷戸公園の指定はどうなっていますか。

(伊藤)

今までは都の指定だったのが、今回国の指定に格上げになりました。その関連で国の調査官が滄浪泉園にも視察に来て、国の登録の話が出ました。

(赤澤議長)

いい話ですね。滄浪泉園は都の所有で、市が管理しているので、登録も問題ないですね。

(伊藤)

他に名勝としては貫井神社などがありますが、境内地のため宗教法人の同意がないと難しいと思います。

(赤澤議長)

絵画や建築で候補はないのですか。

(伊藤)

建造物については、谷口家の民家を以前候補に挙げていましたが、だいぶ老朽化しており修繕費がかさむので、今のところ指定は考えていません。

絵画の指定については50年を基準にしていますので、戦後のものも含まれてきます。

(赤澤議長)

中村研一さんの作品などはどうですか。

(伊藤)

戦争画もあり可能性がないわけではありません。美術館の近代絵画を文化財として指定している自治体があるか調べておきます。もう一人、岸田劉生の弟子の河野通勢という画家の作品の買取りやアトリエの保存ができないかという話もありましたが、少し時代が新しいので検討中です。指定・登録候補については次回、もう少し具体的に提案したいと思います。

(倉澤)

続きまして、今年度設置予定の説明板について報告します。(資料3)

23年度は「武蔵野公園低湿地遺跡」の説明板を新たに設置する予定です。もともと昭和60年度に設置された手書き仕様の説明板がありましたが、壊れてしまっており、市民からの指摘もあったことから、優先的に設置する予定です。

文章や図は一部訂正を加えていますので、ご検討いただくようお願いします。  
(資料3再製文案を読み上げる。)

(田中委員)

文中の和歴にかっこで西暦を入れたほうがいい。あと、五十八年などの「十」はなくてもいいのではないか。

(伊藤)

西暦は入れるように訂正します。「十」を入れるかについては検討します。

(山口委員)

ルビについて、榎状(といじょう)、櫛状(かいじょう)は入れた方がよい。

(伊藤)

入れるようにします。

(赤澤議長)

図面について、広さ(規模)を入れた方がよい。

(山口委員)

この図面は一般の人には分かりにくいと思うので、工夫したほうがよい。

(伊藤)

もう少し簡略化するなどして、工夫します。

(伊藤)

最後に、史跡玉川上水・小金井桜整備活用事業についてご報告します。(資料4)

今年度は240mの範囲の雑木の伐採と桜の補植を行います。先日9月14日に住民説明会を行いました。やはり反対派の方もいらっしゃいました。結局「都の計画通り進めて行くので、ご理解いただきたい。」という回答になった。

(田中委員)

反対の方は、何が良くないと言っているのですか。

(伊藤)

今まで木が遮って、五日市街道が見えなかったのが、見えるようになり景観が悪くなったとか、騒音が増したとか、大気汚染などの問題を挙げていました。また、生物多様性の話を持ち出される方もいらっしゃいました。

しかし、先日の台風でけやきの大木が2本倒れて五日市街道をふさいだり、乗用車に当たったりという被害が出ており、やはり伐採は必要と考えます。

その他の計画としては、緑道の整備と人道橋の架設があり、専門委員会を立ち上げて検討しています。

(赤澤議長)

人道橋は少し幅の広いものにして、ベンチを設置するなど憩いの場になるように

していただきたい。

(伊藤)

もともとの橋を架けるのは、史跡整備の一環で、橋の役目としては「橋の上から眺める桜を楽しむ」というものなので、名所になる橋をつくる、という方向で検討していきたい。

(赤澤議長)

ぜひ進めてもらいたい。この会からも強く要望したと報告してください。

(伊藤)

第3回文化財保護審議会の予定

平成23年12月7日(水) 午前10時から 602会議室